

東亜オイル興業所、アンカーネットワーク

代表団瀋陽へ訪問

掲載時間：2011-06-21

文章出所：瀋陽市対外貿易経済合作局日本投資促進処

6月7日～9日、東亜オイル興業所の碩孝光社長とアンカーネットワークの礎社長を始め4人の代表団が瀋陽市を訪問した。今回の訪問は東亜オイル興業所にとって4回目となる。代表団は瀋陽における油性廃棄物のリサイクルの現状、再生燃料に関する事業展開の可能性、瀋陽に進出する場合に必要な許可と資格、また瀋陽市のパソコンリサイクル事業の現状等について関係する政府部門の担当者、企業担当者と協議した。今回の訪問は、主に瀋陽市対外貿易経済合作局、瀋陽近海経済区、瀋陽市環境保護局、瀋陽国際ソフトウェア園区等を訪問し、また瀋陽市対外貿易経済合作局の王維信局長と代表団は面談を行った。

王維信局長との面談内容として、瀋陽市政府の積極的な地元経済の発展政策、瀋陽市の都市化のスピード、都市建設の状況、住民生活の関心、省エネルギー等の努力等多岐にわたった。さらに王局長は、瀋陽市の発展のため、東亜オイル興業所のような先進的なリサイクルの技術と経験を持っている会社の協力が必要であり、そのためにも今まで以上に順調にプロジェクトが進むようにこれからも我局は多面にわたるサービスを提供し、各方面で積極的に協力したいと述べた。

さらに王維信局長はアンカーネットワークの礎社長に対し、最近の瀋陽市と日本の合作状況を紹介し、瀋陽市の二つのメイン産業（設備製造業と現代建築産業）と瀋陽市の全体像を説明した。瀋陽市は“金廊”（メインストリート）、“銀帯”（渾河）を中心とし、西部は工業区、南部はハイテクノロジー開発区、北部は現代農業区、東部は観光園区として都市計画している。さらなる日系企業の来訪を期待している。瀋陽の訪問を通じて瀋陽市に対しての認識を一層深くし、瀋陽市への投資、事業展開を歓迎したいと述べた。

碩孝光社長は我局の協力に感謝の意を示すとともに、日本に戻り次第、今回収集した情報を分析し、一日も早く瀋陽に進出するよう努力したいと述べた。

日本投資促進処の関係者は関係するイベントに参加した。

翻訳：東亜オイル興業所